

学校だより

明るく 元気に たくましく

広島市立広島特別支援学校 校長 中尾 秀行

TEL 082-250-7101

FAX 082-250-7102

平成26年3月20日発行

E-mail : yougo-s@e.city.hiroshima.jp

ホームページ : <http://www.hiroshimayogo.edu.city.hiroshima.jp/>



卒業式会場に掲げられた高等部生徒の共同作品

御卒業おめでとうございます

□ 第19回高等部卒業式

教育委員長の御挨拶を代読される溝部委員長様

平成26年3月11日(火)多くの御来賓の御臨席を賜り、また、広島市教育委員会委員 溝部ちづ子様をはじめ多数の出席者、多くの保護者の皆様の御臨席をいただきまして、第19回高等部卒業証書授与式を挙行了しました。卒業生一人一人に、3年間の思い出がたくさん詰まった卒業証書を心を込めて授与しました。そして式辞では、卒業生の皆さんが大切に歌い続けてきたピアノ奏者の沖田孝司さん(沖田さんは高等部3年生の授業で演奏をしてくださり、当日も御来賓として御臨席を賜りました。)が作曲された「伝えよう笑顔と心」の曲を流しながら、心も体も立派に成長した卒業生との思い出を振り返りました。在校生、卒業生の熱い思いがこもった力強い合唱に皆さんも胸が熱くなったのではないのでしょうか。卒業生の皆さん、本校で学んだ誇りを胸に、これからも本校の目指す子ども像のように「明るく 元気に たくましく」夢と希望に向かって歩いていってください。皆さんをいつまでも、応援しています。



卒業証書授与



熱い気持ちを込めて歌う卒業生



卒業生退場



御臨席くださった沖田様

□ 第31回小学部・中学部卒業証書授与式

卒業生呼びかけ

3月14日(金)には、第31回小学部・中学部卒業証書授与式を挙行了しました。この日も、御来賓の皆様にご臨席を賜るとともに広島市教育委員会委員 栗栖長典様はじめ多くの出席者、多くの保護者の皆様にご列席をいただきました。式辞の中で1年生のときに亡くなった児童、3年生のときに亡くなった児童も一緒に小学部を卒業することを映像も含めて皆様にお伝えするとともに、卒業生の思い出に残る体験を通しての成長をお話しました。卒業生の頑張りに、会場の方々の卒業生をお祝いする気持ちが一つになった温かい卒業証書授与式となりました。ありがとうございました。小学部卒業生15名、中学部卒業生14名の皆さん、これからも中学部・高等部で「明るく 元気に たくましく」活躍されることを心からお祈りしています。



卒業証書授与



卒業証書授与



卒業証書授与



卒業生退場

最後になりましたが、保護者、御家族の皆様におかれましては、感慨ひとしおのことと存じます。心よりお祝い申し上げます。また、お忙しい中、卒業証書授与式にご臨席を賜りました御来賓の皆様、そして、祝電・祝詞を賜りました皆様に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

□ 学校協力者会議

3月6日(水)に本年度第3回学校協力者会議を行いました。会議では「本校の現状について」「保護者、教職員、アンケート」「学校経営計画の最終評価」「次年度学校経営計画」等について説明をさせていただきました。委員の皆様からは、「教員アンケートの回収率が低い。」「教員アンケートの自己評価が高いのは客観的な分析ができていない場合があり、自己評価基準が甘いということも考えられ、必ずしも高い方が良いとは言えない。」「教員アンケートの高い自己評価から先生方のエネルギーが感じられ、良い方向に向かえば大きな力になる。」「保護者アンケートは文言や判断基準が保護者にとっては分かりにくい。アンケートの項目や問い方を見直す必要があり、その際はPTAとの連携も考えられる。」「アンケートにある保護者の意見を大切にしてほしい。」「挨拶が大変良くなり、学校全体の雰囲気がとても良くなっている。」「成人以降、歯の疾患から食べられなくなり体調を崩すケースも多い。それを防ぐために歯の健康への取組は大切なことで、望ましい生活習慣を形成するために、学校で取り組んでいただけることは大変ありがたい。」「多くの方が学校を訪れているが、外から人が入ることは自分たちを振り返る良いチャンスになる。」「会議での情報から学校の力が高まっているということがよく分かった。」等の貴重な御意見や御提言を賜りました。また、委員の皆様から子どもたちの生涯に渡る支援についての情報提供をいただき、各関係機関と連携を深めていく必要性等の御示唆もいただきました。次年度の学校経営の重点目標は大きくは変えませんが、委員の皆様から賜りました御意見や御提言を反映させて、目標に対する具体的方策や手立て、成果指標、評価方法等の改善を図り、より質の高い教育活動を行ってまいりたいと考えています。



□ 内閣府青年社会活動コアリーダー育成プログラム(外国青年招へいプログラム)

3月6日(木)に内閣府青年社会活動コアリーダー育成プログラム(外国青年招へいプログラム)の一環として、デンマーク3名、ニュージーランド5名、イギリス4名、計12名の外国青年に加え、内閣府政策統括官付障害者施策担当参事官補佐 仁木 俊二 様、はじめ通訳、看護師、青少年交流推進センター、広島県青年国際交流機構のスタッフの皆様が本校を訪問されました。本校訪問の目的は「高等部職業コースの授業の様子、卒業後の進路、サポートセンターとしての地域との連携や教育相談について日本の現状と課題を知り、卒業後を見据えた教育の在り方、地域資源の在り方や活用の可能性、各機関とのより良い協力体制づくりへの取組についての意見交換を行う。」です。本校での活動プログラムは小学部第2学年とのダンスでの交流、高等部職業コースの授業見学、本校職員との意見交換、学校見学といった内容で、滞在された時間は半日と短かったのですが、本校児童生徒の活動の様子や本校の施設・設備、そして本校の取組等、様々な情報を全て吸収してもち帰ろうと大変熱心に活動されました。

帰国後、それぞれの国で、本校で知り得た情報や感じたことを大事にいただき、それぞれの立場で活躍されることを願っています。



小学部第2学年との交流



職業コースの授業見学



本校職員との意見交流



本校の概要説明

□ みんなで語ろう!心の参観日

3月13日(木)にドッグスタイリスト「ル・シアン」店長 真野千絵 様はじめ5名のスタッフの方と6匹のワンちゃんが来校してくださり、中学部第2学年の6、7、8組の生徒と保護者の方にお話をさせていただいたり、実際にワンちゃんとの触れ合いを体験させていただいたりしました。生徒は愛らしいワンちゃんとの触れ合いを通して、「思いやりの心」や「命の大切さ」について学んでくれたのではないかと思います。「ル・シアン」店長 真野千絵 様、スタッフの皆様、そしてワンちゃんには5年前から何度も本校に来校していただき、児童生徒の教育活動に御協力いただいております。心を揺さぶる動物との触れ合いを通して、児童生徒の豊かな情操がはぐくまれています。心から感謝いたします。ありがとうございました。



愛らしいワンちゃんと触れ合う生徒

□ お知らせ

- プリントでお知らせしておりますように、3月28日(金)に離任式を行います。9時50分開式、10時20分閉式です。下校時間は11時30分です。当日はスクールバスを運行します。なお、この日は、出席日数に含まれない登校日とします。保護者の皆様も、御都合がつけば是非御出席ください。
- 3月に御来校いただいた方々(教育相談等での見学は除いています。)

日付	団体名等	人数(名)
2月27日(木)	安東民生児童委員協議会様	16
3月6日(木)	内閣府青年社会活動コアリーダー育成プログラムスタッフ様	22
3月10日(月)	鳥取県立倉吉養護学校 副校長様 事務長様 肢体部主事様	3
3月18日(火)	長崎県立佐世保特別支援学校	2
3月19日(水)	山口県立下関総合支援学校 小学部主事様 中学部主事様 高等部主事様	3
3月19日(水)	仁保民生児童委員協議会様	22

保護者の皆様、今年度も本校の教育の推進に御理解と御協力を賜りましたことに深く感謝し、心から御礼を申し上げます。来年度も、本校教育の益々の充実・発展に向け、職員一同精一杯努力してまいりますので、引き続き御理解、御支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。